

## はじめに

近年、世界規模で地球温暖化の影響とみられる災害が相次ぎ、国内でも甚大な災害が頻繁に発生するなど、気候変動がもたらす影響は深刻さを増しています。

わが国では、2020（令和2）年1月に、2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロをめざす宣言がなされました。さらに、2021（令和3）年4月には、「地球温暖化対策計画」を改訂し、2030年度において、温室効果ガスを2013年度比46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていく削減目標が定められました。

本市においても、2021（令和3）年7月に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「高砂市ゼロカーボンシティ」を表明し、この危機的状況を回避して、未来のために地域全体で脱炭素社会の実現を目指すことを宣言しました。

このたび策定いたしました「高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」では、本市の地域特性に応じて、市民、事業者、行政のそれぞれが、脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの利用促進、省エネルギーの取組の推進、ごみの減量・資源化の推進など、市域全体で地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進していく行動計画を示しています。

カーボンニュートラルの実現には、化石燃料を中心としたエネルギー供給の大幅な転換やエネルギー消費型社会の見直し、次世代自動車の導入など、抜本的な改革を多面的に推進する必要があります。今後は、本計画に沿って施策を進めてまいりますので、市民の皆様、事業者の皆様には、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案をいただきました市民、事業者の皆様、熱心なご審議とご意見をいただきました高砂市地球温暖化対策地域協議会委員の皆様をはじめ、ご協力をいただいたすべての関係者の皆様にご心より感謝を申し上げます。

2023（令和5）年3月

高砂市長 都倉達殊

